

- 会社名 株式会社ヨシハラ
- 所在地 本宮市糠沢字二斗内 296
- 社員数 29名
- 代表取締役社長 吉原 隆介
- 事業内容
プラスチック射出成形、活性水製造装置「アグアガイア」・吸気活性シート「ガイアパワー」の製造販売
- 取組内容

子育て支援に取り組み、平成26年に厚生労働省から「子育てサポート企業」に認定される



取り組み① 子育てサポート企業

子育てサポート企業の認定

株式会社ヨシハラは、自動車部品などのプラスチック製品を製造するほか、環境に配慮した製品の開発製造を行う企業です。代表取締役を務める吉原隆介さんは、36歳の若き経営者。自身も子育ての大切さ、大変さを経験し、従業員の約8割が女性という職場から、子育て中でも安心して働ける環境づくりの重要性を感じていました。妊娠中の従業員には、産休・育休などの制度を奨励するなど、休暇取得を支援することで、女性の育児休業100%、男性の看護休暇取得につながりました。そうした取り組みが評価され、平成26年には、厚生労働省から「子育てサポート企業」の認定を受けました。これは本宮市では初、小規模事業所（製造業）としては県内初となる認定でした。



▶子育てサポート企業認定のくるみマーク

「それは言っても会社はきつかけづくりをするだけ。一番は従業員同士の連携が取れていることが大きい」と話す吉原社長。男性従業員が子どもの看護休暇を取得したことをきっかけに、お互いの業務を進んでフォローし合う意識が強くなったといいます。会社もそれを後押しする形で、社内でお互いに感謝の気持ちを伝えられる携帯電話アプリを導入しました。面と向かって感謝の気持ちを伝えるのは気恥ずかしくても、アプリを介してなら伝えられると従業員の間で人気です。また、従業員全員で情報を共有することで、感謝の『見える化』にもつながり、コミュニケーションや協力意識も高まっています。

女性が活躍できる環境

より良い環境づくりは、人材の確保にもつながっています。従業員の遠藤



（株）ヨシハラの吉原社長

歩さんは、結婚を機に子育てしながら仕事ができる場所を探していたところ、（株）ヨシハラの求人を見つけました。応募のきっかけは、「子育てサポート企業」に認定されていて、子育てがしやすい会社だと感じたからだそうです。入社後、妊娠した際には、引き継ぎなどのサポートもあり、「安心して育児休業に入れた」と言います。昨年7月に職場に復帰した遠藤さん。現在の楽しみは、仕事の合間の「子育て支援本」づくり。子育て世代が多いことから、お店やあそび場の情報などをみんなが集め、会社から妊娠した従業員にプレゼントする冊子を編集しています。「メリハリがしっかりしていて、安心して働ける雰囲気がか社の魅力です」と笑顔で話してくれました。



子育てをしながら勤務する遠藤歩さん。会社全体の良い環境が安心して働ける雰囲気を作っています